

令和4年度 第3回公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 令和5年1月26日(木) 10:00～11:15
- 場 所 本部講義棟3階 大会議室 (Webexによるオンライン会議)
- 出席者 江崎信芳委員、尾室高志委員、片木威委員、田中仁成委員
田村文男委員、今井正和委員、遠藤由美子委員、小林朋道委員、矢野順治委員
[9名/11名]
- 欠席者 足羽英樹委員、宇佐美誠委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 令和5年度当初予算の編成について(案)

事務局から、令和5年度当初予算の編成について説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・ 目的積立金で設備の改修という説明だったが施設整備費補助金との関係を伺いたい。
→すべての経費を県・市からの施設整備費補助金で賄うことができないので、あとは、大学の目的積立金を合算して施設整備を行う。目的積立金は、設備の改修だけでなく臨時的に必要な教育研究のソフト的な経費にも使用している。
- ・ 教育経費、研究経費がかなり減っているがその理由は何か。
→教育経費については、スクールバスをコロナの関係で増便して一時的に膨らんでいたものを見直して平常ベースに戻していく。奨学金についても以前説明した県内出身学生への見直し分での削減。個人研究費の残った分をすべて繰り越していたが、全部使うわけではないので、必要に応じて補正で対応する。教育、研究経費は減額にはなっているが縮小しているわけではない。

3 報告事項

(1) 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科と鳥取大学大学院連合農学研究科との連携について

事務局から、公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科と鳥取大学大学院連合農学研究科との連携について報告があった。

〈主な意見等〉

- ・ 博士課程だけでなく、修士でも連携して盛り上げていただきたい。
→学生だけでなく、教員もつながりが出来てくるので、色々と盛り上がっていききたい。
- ・ 現在3大学持ち回りで、合同でゼミを行ったりして学生にとってもネットワーク、人脈が出来ている。また、公務員、企業の方も社会人学生として参加して、地域人材のスキルアップにもつながる。

(2) 近況報告

事務局から、近況について報告があった。

〈主な意見等〉

- ・県内就職促進で産業界への要望について、企業側は、本当に地元から優秀な人材を取りたいのであれば、自らの取組みを抜本的に見直すことが必要である。奨学金の返済支援制度、福利厚生、なんといっても賃上げということになるが、丁寧にかつ粘り強く民間企業へ PR していただきたい。

4 閉 会